

みやの 青少協だより

宮野地区青少年健全育成連絡協議会

〒753-0011

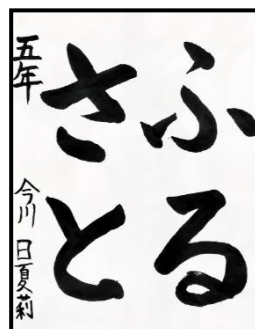
山口市宮野下 3054 宮野地域交流センター内

TEL 928-0250 FAX 928-0320

2026 年 8 月 1 日号

宮野小学校児童作品

「ふるさと」 5 年 今川 日夏莉
「ホタルの絵」 6 年 金子 奈 未



地域の子どもは地域で
守る

多くの地域で「ながら見守り」が推奨されています。犬の散歩やウォーキング、買い物途中で子どもたちの登下校時間帯に合わせて、〇〇しながら子どもたちを見守っている、という取り組みです。

私自身も朝の通学時や小中学校が終わった時間帯、「ながら見守り」を心がけ宮野地域で過ごす時が多いのですが、各所で子どもたちの元気な姿を目にします。私の子どもが宮野の小中学校に通っていた頃よりも少なくなっています。傾斜が、元気な子どもたちの姿に勇気をもらっており、できるだけと声をかけるようにしています。また、「気をつけてね。」と声をかけるだけで、事故にあう確率が下がるといふ研究もあるとのこと

です。
見守り活動の良いところは、子どもたちの安心安全が進む

だけではありません。宮野地域は子どもたちのために多くの大人が街角に立っている、という認識が広がれば犯罪や事故の防止にもつながっていくと思いますし、ひいては地域への愛着も増えていくことで

よう。また、それぞれ地域で「私だけでなく近所の人と一緒に立つ」と、「一緒に散歩しよう」という方が増えてくれば、地域全体が元気になっていくことは間違いありません。残念ながら、宮野地域内にも子どもたちの安心安全の登下校という視点で見た場合、改良が必要な箇所が少なくありません。そうである以上、子ども自身が自分の身を守るための行動を心がけるとともに、その子どもたちをしっかりとサポートできる地域の体制が出来上がることが地域の安心安全そのものになるんだとうと感じるところです。

山口市議会議員

村上満典

子どもを育てる宮野地域
『ぬくも』のバトン

園は、子供がその小さな一歩を踏み出す初めての社会です。最初は不安でも、そこが「安心できる場所だ」「楽しく遊べる場所だ」とわかると、そこではじめて、豊かな気持ちや社会性が育っていきます。つまり子供の育ちの根っこは、気持ちの安心・安定が大切であり、育成に『ぬくもり』は欠かせないということ

です。
子供は園だけではなく、地域で出会う方々との触れ合いを通して学んでいきます。「おはよう」「どこに行くの?」「いつてらっしゃい」など、地域の方からいただく温かな声かけや笑顔は、子供の安心感につながり、育ちの根っこを強くします。新しい場所、新しく出会う人に対して「(不安だったけど)大丈夫だった」という経験を積み重ね、根っこを強くしながら、

子供の世界は少しずつ広がっていきのどと考えます。

三月、卒園児がいよいよ園から去ろうとする時でした。お隣の宮野小の校庭にいた大勢の小学生がフェンスに集まってきて、声をそろえ言ってくれたのです。「おーい！卒園おめでとう！小学校で待ってるよー」。卒園児たちは嬉しそうな笑顔で「ありがとう。待っててねー」と手を振り返し応えていました。「宮野の子供たちは、相手の状況に思いをはせながら、言葉のキャッチボールができるんだなあ」と胸が熱くなった出来事でした。

六月には、旧明朗会の方々と交流の機会を得ました。「あ、先生、来ちゃったよ」と来られた方々をいち早く見つけ、「わーいわーい」と笑顔で玄関に集まってお迎えをする園児。一緒に水遊びや七夕飾りづくりをする中で、「好きな食べ物は何ですか？」「好きな動物は何ですか？」「え、（自分と）同じー」

等々、たくさんの会話を楽しんでいました。

「この子供たちの姿はどこからくるものでしょう。誰しも不安な気持ちの時には、自分の思いはなかなか出せません。安心し、気持ちが安定しているからこそ、素直に自分の思いを表出でき、言葉のキャッチボールができるのだと思います。」

他にもたくさんの方々と、交流・体験・経験の機会をいただいています。「応援していますよ」という『ぬくもり』を糧に、子供は成長という道を進んでいます。安心できる『ぬくもり』のバトンが、この地域に受け継がれていることを感じています。

幼児期は生涯にわたる人格の基礎が培われる大切な時期です。その大事な幼児期に、温かい地域の中で、子供の育成に携われることを有り難く思います。

未来を担う子供たちが笑顔で健やかに成長できるよう、

ともに地域づくりを進めてまいりましょう。

宮野幼稚園

園長 岡村貴美子



宮野を愛する子供たち 熱議から行動への第一歩

六年生の教室から、「それおもしろい！」「やろうやろう！」と弾む声が聞こえてきました。学校運営協議会委員の皆様を迎え「宮野の良さを更に良くするために自分たちにできること」をテーマに熱議を行った時の「コマです」。

事前アンケートで、子供たちは宮野の自慢を「木タルや山の豊かな自然」、そして「地域の人が優しく、仲がよいこと」だと答えていました。皆様の日頃の温かい声かけが、

子供たちの心に最高の安心感として届いている証拠です。

大好きな宮野に恩返しをしたい。そんな真っ直ぐな想いを胸に、熱議では誰もが身を乗り出し、目を輝かせながらアイデアを溢れさせました。「ゴミ拾いをして大好きな木タルを増やし、地域を盛り上げたい」「ポスターやSNSで宮野の魅力を自分たちの言葉で発信したい」「地域の人とフリーマーケットを開いてもっと関わりを増やしたい」頼もしい提案の数々に、委員の皆様からも「地域のためにここまで積極的に考えてくれるなんて嬉しい」と感動の聲が上がりました。子供たち自身も「友達の意見から自分にはない新しい視点が見つかった」「ワクワクした」「とにかく楽しかった」と、対話の喜びを実感したようでした。

最後に校長先生から「この話を行動に移していくことが大切である」という、未来へのエールをもらいました。故郷を愛し、歩み出した

子供たちは、これから小さな「行動」を起こし始めます。

彼らが動いたときこそ、私たち大人の出番です。地域で見かけた際には、ぜひ「応援している」「一緒にやろう」と温かい言葉をかけてください。その温かい眼差しが、子供たちが宮野を誇りに思い力強く生き抜く大きな原動力になります。

宮野小学校

教頭 森田和則

今を大切に生きる

「今」を大切にすることは、自分の未来を大切にすることです。皆さんは、家族や友達と笑い合う時間、学校で学ぶこと、部活動や地域で過ごす毎日を当たり前だと思っていないかもしれません。しかし、その当たり前の日々は、決して当たり前ではありません。

私たちは今年五月、大切な仲間との突然の別れを経験しました。四十代という若さ

で旅立ったその仲間、地域のことを考え、子どもたちの笑顔のため、安心して暮らせる宮野のために、誰よりも熱い思いを持って行動していました。

「今度また会おう」「また一緒に頑張ろう」。そう交わした約束は、もう叶うことはありません。「今」という時間の尊さを痛いほど感じています。伝えたい感謝はその日に伝える。会いたい人には自分から会いに行く。挑戦したいことがあるなら一歩踏み出してみる。その積み重ねが、後悔の少ない人生につながるのだと思います。

皆さんの周りにも、家族や友達、先生、地域の人など、皆さんを支えてくれている人がいます。その存在を当たり前と思わず、「ありがとう」の気持ちを言葉にしてください。その一言は、相手だけでなく、自分の心も温かくしてくれます。

亡くなった仲間は、子どもたちの笑顔を何より願っています。

ました。その思いは、今も私たちの心の中で生き続けています。だから私は、その思いを皆さんへ繋いでいきたいと思っています。

今日という日は二度と戻ってきません。だからこそ、一日一日を大切に、自分を大切に、そして人を大切にしながら生きてください。その積み重ねが、きっと皆さん自身の未来を輝かせてくれるはずですよ。

宮野中学校親育会会長

矢元謙吾

将来の君へ
美しいハーモニーで
切の拓く、君たちの
夢と未来へ

音楽には、人々の心をつなにし、社会の絆を深く結びつける確かな力があります。私はこれまで「山口県警察音楽隊」の楽長として、指揮を執り、隊員たちを統率してまいりました。警察音楽隊の使命は、音楽を通じ、県民の皆様

と警察を結ぶ「音のかけ橋」となり、県民の安全と安心を守ることにあります。県内外でのパレードやコンサートは、厳格な規律のもとに磨き上げられた至高のハーモニーで、それが聴く人の心を打ち、地域防犯や安全意識の高揚へとつながる現場を、私は最前線で指揮してまいりました。音楽が持つ社会的責任と無限の可能性を肌で感じてきた日々は、私にとって大きな誇りと財産です。

令和7年の退職後は、その経験を広く社会に還元すべく、山口大学の職員となり、また、この度、部活動の地域移行という大きな節目を迎え、9月から「山口市立宮野中学校吹奏楽部」の地域クラブ指導者として、生徒の皆さんと共に新たな一歩を踏み出すことになりました。警察音楽隊という組織の第一線で培ってきた実績と経験のすべてを、今後は宮野中学校吹奏楽部に全力で傾注したいと考えています。ここで私が目指すものは、

単に楽譜通りに楽器を鳴らす技術の向上だけではなく、美しい音楽に真摯に向き合うことで、豊かな感性と困難に負けない強い心を養う「情操教育」を何よりも重んじていきます。同時に、日々の活動の根幹として徹底したいのが「人間形成」です。社会の基盤であり、信頼関係を築くための基本である「厳正な規律」、「心のこもった挨拶」、「正しい礼儀作法」は、一朝一夕で身につくものではありません。だからこそ、

日々の地道な練習を通じて、当たり前のことを徹底できる強さを身につけていってほしいと願っています。吹奏楽は仲間と一つの音を作り上げる中で、自己を律し、相手を思いやり、責任を果たすこと。そのプロセスを経て初めて、子どもたちは自分の「将来の夢や希望」に向かって、実直に進んでいける堂々とした人間に成長できると信じています。この青少年健全育成という大いなる視点は、日々の指導

導力リキュラムの揺るぎない軸として、優しく組み込んでいく方針です。音楽の力で素晴らしい未来への扉を自らの手で切り拓いてみませんか。

宮野中学校吹奏楽部という新たなステージで、未来の君たちと共に美しいハーモニーを響かせ、共に成長できる日を心から楽しみにしています。

上校畠町内会長
地域クラブ指導者

田中秀明

野球を通じた人づくり
「十八年間の指導で感じる
子どもたちの無限の可能性」

私は宮野野球スポーツ少年団の指導者として十八年間、子どもたちとともにグラウンドに立っています。その中で強く感じているのは、少年野球の目的は技術の向上や勝敗だけではなく、「人づくり」にあるということです。

野球は一人ではできません。仲間と協力し、励まし合いな

が目標に向かって努力すること、思いやりや責任感、最後までやり抜く力が育まれます。試合では成功することあれば、失敗して悔しい思いをすることもあります。しかし、その経験を乗り越えることで子どもたちは大きく成長していきます。

私が指導の中で大切にしているのは、「あいさつ」と「感謝」の気持ちです。グラウンドで野球ができること、仲間と活動できること、保護者や地域の皆さまに支えられていることは決して当たり前ではありません。周囲への感謝を忘れず、元気なあいさつができる子どもに育ってほしいと願っています。

近年は地域のつながりが薄れ、異年齢の子ども同士が関わる機会も少なくなっています。そのような中、少年野球は学年を超えて交流し、互いに助け合いながら成長できる貴重な場となっています。上級生が下級生を思いやり、下級生が上級生から学ぶ姿は、

地域の中で育つ子どもたちの大切な学びの場であると感じています。

これからも野球を通じて、仲間を大切にする心や挑戦する勇気を育み、地域や社会に貢献できる人へと成長してほしいと願っています。子どもたちの健やかな成長のために、今後とも地域の皆さまの温かいご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

宮野野球スポーツ少年団

監督 寺井 一雄

お母さんの魔法

母さんが、見ているからね！という魔法――

これは以前、新聞のコラムで目にした一文です。母さんがついているから大丈夫、しっかりやっておいで。そんな情景が目につかびます。

今年もすみ学級に、多くの一年生が仲間入りしました。毎日のようにあちらこちらで「見て見てー、こっちー、見

とつてー。」の合唱です。

折り紙や絵、レゴブロックの作品、よく飛ぶ紙飛行機など、子ども達は自慢気に見せてきます。お友達から教わったあやとりや、何十回も練習してきたケン玉の技、そして、ドミノを崩すから見に来てーと。友達の歓声や拍手に包まれた時の誇らしい笑顔は何度見てもほほえましいものです。が、最後にポツリと、「母さんに見せたかった。」という言葉。いつものことです。お母さんが一番です。「お母さんだけいればいい。」という子もいるくらいですから。子どもにとってお母さんは、きつと百人力、いえ、千人力なのですね。お母さんにはかないません。

お母さんの「見てるよ」のひとつで、子ども達は安心してがんばれます。お母さんに褒めてもらいたくて一生懸命がんばっています。どうぞお母さんの魔法で、子ども達が安心して自信を持って過ごせるよう、応援してください。

魔法は効くときばかりではなく、思春期にもなればほとんど効かなくなるかもしれません。でも忘れないでください。子ども達は、お母さんが思っている以上にお母さんのことが大好きです。だから多分、魔法の効力は無期限です。

放課後児童クラブ
すみ学級支援員

檜崎佳子

令和八年度 宮野地区青少協役員

(令和八年六月現在)

会長	総務	阿川 浩志
副会長	育成	桂 崇高
会計	広報	中村 登
総務	梅田 孝枝	
久保田悦弘		
藤田 房子		
沖野 正次		
竹内 稔雄		
城市 育朗		
小田村克彦		
石津 明		
近藤 哲久		
伊藤 博実		

中学校	松原 正典
小学校	原田航一郎
広報部長	高畑 佳枝
	石川 和朋
	藤井 俊明
	野上由紀子
	波多野富貴恵
	有井美佐子
	古屋 延子
総務	(以上 常任委員)
宮野自治連合会長	原田 尚
女性部副会長	伊藤 裕子
社協会長	徳万 孝治
民児協会長	河村 宗治
子連会長	三浦 俊彦
地域づくり協議会長	小林 訓二

中学校長	西村 康成
小学校長	古屋 伸浩
幼稚園長	岡村貴美子
中親育会長	矢元 謙吾
小PTA会長	松原 史好
幼PTA会長	江村 充祐
中育成部長	青木 香織
小PTA青少協担当	
山口駅前交番	森重 茂
(以上 委員)	松原 史好